



今俳諧明題集

春之部



手羽破の妻乃世一は  
片の心をもちまける  
と人乃てとあるに乃  
もふはふと一は是尔  
かたふる母乃ちの理守る

吾友及妹を種日し半を  
二十五年あつたるに  
漸くはるるをいふを  
り引るるをいふを  
あははははははははは

おも不人何也  
三三三三三三三三三三  
あ

三三三三三三三三三三  
~~三三三三三三三三三三~~

○史片歌と唱ふは因縁コトモトなきのはど先ニ長同するぞりしは  
 冊子サウシに出ぬまを今つゞにハ記さばおふにいり  
 身ワカクニ記法前コトクニに異國の言葉コトをりて俳諧とせぬハ語し  
 又なくハそあはれをいハハのく片歌とるげは  
 今の教句てふものなりしはや古事記フルコトフニおふは演はちぶとの  
 片歌にして十九言シニカウタの種前片フルコトフニ古事記おふは演はちぶとの  
 おし今世に新コトりしものほいにハに按コトあれを秀テアリまを  
 ねむひゆ片歌と唱ふ歌のこりこ詞をさうぬハ世ははは  
 おひてまふはもすえはしはやつとまむひとまふは  
 正マサまふはにまふは正マサまふはにまふは正マサまふはにまふは

にもつひか多て。詠まはばらのひし。侍のひは集にえ。こ  
出せる。びく巻にめり。にゆり。い。に。一。名片歌を。載。し。侍。ハ。  
廣く時世のさゆも。ち。一。め。又。い。か。一。を。この先侍人。は。た。め。  
の。尺。蓋。能。詠。め。む。と。ある。一。侍。ハ。ゆ。急。あ。り。

○此集女とをむる。そのまを。に。橋。本。小。歌。を。づ。ら。一。が。里。ふ  
に。事。の。ま。一。さ。れ。だ。や。ぬ。又。十。三。巻。を。う。り。せ。ま。ま。を。補。ひ。た。り。  
一。を。奴。の。書。は。い。ち。づ。に。ほ。て。む。こ。り。ひ。一。と。し。と。あ。一。詠。か  
ゆ。さ。た。一。と。で。う。け。ひ。う。だ。の。ち。を。ち。と。ら。此。集。は。う。つ。一  
し。侍。人。お。か。く。あ。る。一。び。一。の。世。に。め。詠。集。と。う。ぶ。り。を。写  
し。一。侍。お。を。え。れ。に。さ。一。あ。や。と。う。て。そ。は。は。ら。の。と。一。し。  
ぐ。よ。一。あ。一。た。む。な。く。も。ゆ。一。び。な。を。に。さ。か。く。て。ら。あ。

ひ。と。の。罪。も。り。侍。人。の。ま。一。詠。を。あ。や。は。侍。に。ゆ。れ。た。ば。二。巻  
と。詠。志。を。り。に。お。り。ひ。た。ら。て。と。う。に。え。り。を。さ。し。す。む。一。一。詠  
え。侍。に。す。け。ふ。侍。人。あ。一。た。ら。を。作。り。て。け。集。に。増。え。ら。む。  
事。を。お。り。ひ。或。ハ。換。ぐ。詠。詞。の。ま。一。だ。一。あ。り。を。も。と。て  
あ。て。目。に。ち。小。子。事。ハ。あ。す。詠。よ。及。ぶ。詠。だ。語。を。濫。に。け。一  
あ。れ。を。え。一。と。ま。い。は。し。に。も。一。一。一。詠。志。を。に。お。り  
し。と。又。ゆ。か。か。い。の。け。又。か。あ。ひ。ら。と。一。お。が。ゆ。侍。の。ハ。侍。こ  
と。う。と。な。く。う。い。一。詠。け。に。彼。志。は。侍。人。の。室。と。一。し。む。  
石。ハ。お。ゆ。し。だ。あ。ひ。ら。と。出。る。む。の。い。一。か。く。た。が。ゆ。侍。ハ。  
是。り。一。や。つ。く。ま。が。ゆ。一。石。を。と。い。だ。が。侍。あ。る。一。む。  
○ス。一。一。身。に。め。れ。目。ふ。あ。ひ。一。侍。詞。を。さ。ら。ぬ。一。に。

字ひもたゞさで表はせぬあやたしくもひくくさたぐひの  
の付くも飛ゆくハヨリ〜短く

○芭蕉麦林をばい先は森の集り梅のハおなく出さば又  
中集にハハハを拾ひて〜出せぬもあや。

○念<sup>ヲス</sup>の園の廣き境ふせ〜ばにあそびく多〜て居人いと表げ  
〜い〜むれぬるにぬらぬ〜ぬらぬ〜に付〜む〜に漢を  
〜は〜やつ〜が〜半の及〜は〜し又〜歌の白もあるか〜が〜ハ  
正〜け〜れ〜日<sup>ヌキ</sup>の律<sup>メニ</sup>は〜漢は〜砂の敷く〜を〜む  
〜い〜か〜た〜ま〜る〜れ〜を〜た〜い〜お〜な〜お〜む〜む〜につ〜く  
た〜む〜も〜ハ〜た〜く〜る〜歌をの〜と〜は〜の〜ハ〜の〜を〜又〜一〜字  
た〜た〜ぐ〜ひ〜も〜く〜さ〜さ〜あ〜を〜ハ〜た〜く〜る〜も〜あ〜い〜。

○和歌的歌集といふおは書を〜り〜りのふよせ〜れ〜む〜も  
撰〜出〜せ〜る〜よ〜ハ〜呼〜お〜や〜に〜中〜え〜る〜水〜の〜歌の〜を〜お〜ま〜す〜歌の  
た〜く〜れ〜も〜白〜く〜ハ〜は〜る〜さ〜の〜ハ〜い〜ま〜だ〜。

○白をまつ〜〜梅は〜ついでハ〜歌あり〜を〜え〜く〜みて〜上中  
志も〜定ぬ〜は〜は〜あ〜む〜も〜して〜ち〜さ〜ん〜今〜若〜人〜り〜こ〜せ  
く〜は〜ば〜く〜ふ〜つ〜け〜か〜い〜〜〜さ〜半にもあ〜〜ひ〜を〜時〜やつ〜が  
尊のまに〜〜は〜を〜ち〜は〜の〜あ〜と〜表〜は〜べ〜。

○白は〜何に〜は〜あり〜〜〜は〜え〜〜は〜或ハ〜おる〜び〜は〜また〜の〜く  
ち〜さ〜書<sup>フ</sup>の<sup>コ</sup>披<sup>キ</sup>あり〜を〜り〜て〜い〜び〜蓋<sup>フ</sup>押<sup>コ</sup>を〜り〜て〜す〜み〜を〜ハ〜白の  
あや〜を〜る〜も〜の〜何〜も〜又〜子<sup>ツ</sup>孫<sup>コ</sup>に〜漢〜り〜て〜を〜〜〜お〜も〜た〜べ〜だ〜バ  
白に〜よ〜る〜て〜ハ〜中〜た〜く〜ひ〜め〜何〜も〜む〜人〜を〜を〜の〜が〜先〜る〜ん。

古今所明題集卷之一

一

○古き歌のいとせもなほ...  
 まつりてあやまらりてけく...  
 せらにヒミをかき...  
 朝小ヒミのう...  
 あはし...  
 中下...  
 セタとお...  
 す...  
 と...

○夕ほぬ...の園...  
 つけ...

○夕ほぬ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

○夕ほぬ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

山のそとをうつくしてあはれびやのあういあうまたたけ家もつれどせは  
 くらゝはまごとのあかちて世の人をいんをよきまじりて今の俳諧よ  
 りのいびくやあやうきにいづるをほごのこころにあらぬまきまき  
 けりのでうは事にもまなけはれまごぬんいりすまひさるり  
 けくまごしとゆゑぬまごの飛海まごまごまや今まにあらぬ  
 はと百いひのりむむまご葉の人のあまよりて志を興さばま  
 葉本の名を志はくひのあにまかまひはむむ  
 ○凡あうたはくまごの申にまご 皇朝の事にあうまご  
 まつけはまごまごまごあまごまごまごまごまごまごまごまご  
 あれどまごまごまごまごまごまごまごまごまごまごまご  
 室屋妻末の娘九月節日東於吸意意是あはれ一涼体はを

古今俳諧明題集春部目錄

子ニイリウニ 年内五春	初葉	五春	任初至	福壽州	二
ワカニ 新水	二	屠菰	二	蓬萊	二
キソハ 着衣始	三	試筆	三	少見比須	三
サウフ 懸想文	三	破魔弓	三	弓娘	四
ウニ 馬乗初	四	舟乗初	四	謡初	四
スニ 釋初	四	高始	四	浴室始	五
ニ 萬歳	五	春駒	五	傀儡師	五
サニ 粗公	五	鳥逐	五	小松枕	六
ジン 人日	七	福佛	七	閑寂	七
ヨ 甲冑	七	帳釘	八	水掛祝	八

古今俳諧明題集卷之二

目錄



番下	八	常陸常神事	八	縣召	八
粥杖	九	林善入	九	花吹雪	九
御忌	九	春雨	後九至十一	御寒	十
春雪	十	春雨	後十一至十二	霜	後十二至十三
更上氷	十一	雪消	後十三至十四	雪間	十四
氷燠	十四	下流	十四	芥菜	十四
女萎	十五	款冬花	十五	大芽	十五
本芽漢	十六	甲切	十六	紫雲英新葉	十六
芽獨活	十六	薄菜	十六	新草	十七
養心	十七	苦肺	十七	雞兒腸	十八
松花	十八	梅	後十八至二十	柳	後二十至二十一

眞起	後北三	鱧鱒魚	北五	乾雪鱈	北五
二月堂行	北五	釋奠	北五	薪能	北五
涅槃會	北六	彼岸	北六	作龍酒	北七
水	北七	初年	北七	臘夜	北八
臘月	後北八	燒野	北九	陽火	北九
紙	後北九	鷹	三十	春鷹	三十
雉	後北十	告天子	後北十一	知更雀	北二
字	北二	末都牟之理	北二	百千鳥	北二
鳥尾	北三	鳥巢	北三	黃雀	北三
雁	北三	燕	後北三	水鳥	北四
鹿角解	北四	猫	北五	啓蟄	北五

古今事類考

糊蝶 卅五  
 鱧 卅六  
 寄居虫 卅八  
 秧田 卅九  
 蕨 卅九  
 春菊 四十一  
 野蒜 四十一  
 萍 四十二  
 菊 四十二  
 野蜀葵 四十二  
 連翹 四十二  
 蜂窠 卅六  
 田螺 卅七  
 瓜寄風 卅八  
 麻蔴 卅九  
 筆頭菜 四十  
 菜花 四十一  
 蒿 四十一  
 紫羅 四十二  
 胡頹子 四十二  
 辛夷 四十三  
 山菜 四十四  
 蕨 卅六  
 規 卅八  
 釋圃 卅九  
 播種 卅九  
 蒲公英 四十  
 珊瑚菜 四十一  
 蕪 卅九  
 菊 卅九  
 芥菜 卅九  
 迎春花 卅九  
 掃枝 卅九

出代 四十五  
 潮盡 四十七  
 踏青 四十七  
 順峯入 四十七  
 長日 四十八  
 鳥冲雲 四十九  
 櫻棘鼠魚 四十九  
 上藻 五十  
 茅絨 五十一  
 茅刺 五十二  
 芥種 五十二  
 雅像 四十五  
 硯採 四十六  
 舌星奇 四十七  
 法花祭 四十七  
 田原化鳥鷲 四十八  
 琴 四十九  
 櫻魚 四十九  
 紫花地丁 五十  
 草菊系 五十一  
 木瓜 五十二  
 梅 五十二  
 翻雜 四十五  
 春霜 四十七  
 御身杖 四十七  
 煖寒 四十八  
 麥鷄 四十八  
 櫻貝 四十九  
 少溪鱸 五十  
 行花紫系 五十一  
 白頸翁 五十一  
 裙帶菜 五十二  
 櫻 五十二

古今事類考卷之三 目錄三

海棠	五十八	梨花	五十八	羊躑躅	五十八
金棣棠	五十八	瑞香花	五十九	木蓮花	五十九
石楠花	五十九	紫荊花	五十九	芙蓉花	五十九
郁李	六十	玉蝶	六十	五加	六十
採茶	六十	梅新生葉	六十	紫藤	六十
春夕	六十一	暮春	六十二		

古今俳諧明題集春部

年内立春

春のりをたいて惜むやとりのうち  
 ると色うらやめる春やとりのうち  
 春のうちのまきまたりに水のまき  
 とりのうちに白の先よまうめれふ  
 喚びきの粗率てもなすいれうち  
 といへうまきハまきうらやのうち  
 ちまき日よ春て急ぐとりのうち  
 兜んよさびきささるやまけうち  
 秋のて焼くはまきうらや福喜羊

大和柳本 去路  
 近江日野 去路  
 加賀松代 素園  
 伊勢山田 素園  
 同 兔士  
 江戸 破了  
 肥後熊本 破了  
 武蔵西谷 西羊  
 同戸室 巴臣

古今俳諧明題集卷之二

春のうしろや 寝てゐるさ たる乃 葎カスミキリ  
とーのうちに 幸を 獲いしう 葎カスミけり  
ちとーの 寝る ねむい じう ぬい ぬい  
とー乃うち ぬい 室よ ぬい ぬい ぬい  
小 葎カスミく ぬい 居 ぬい ぬい ぬい  
も 葎カスミ年の ぬい 葎カスミや ぬい ぬい

立春

浦の 葎カスミち ぬい し 飛 ぬい ぬい ぬい  
日の ぬい ちと ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい  
ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

大坂 一 葎

江戸 柳 居

南 白 枝

下 葎カスミ 青 藍

全 涼 葎

温 故 葎

伊 葎カスミ 温 故 葎

大坂 葎 坡

ま ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

加 葎カスミ 希 因

武 涼 葎

武 雪 叩

苦 ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

あ ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

此 ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

肥 ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい ぬい

江 葎カスミ 維 旭

武 洗 雪

京 安 里

西 羊

古今詩歌明題集卷之二

出日と同年たり為春草

武小山 兔洲

新水記

彩のやををとりよれてるるづ  
こころのま日し雨梅うぶてや

武志梅 凉字

屠蘇

屠蘇乃秀やあまめし兼も秀も

未 え女

蓬萊

蓬萊や兼よとのりいこトめ

上毛妙美山 一喜

着衣始

神の座いよら捨うう着衣始  
屠蘇の香の痕へ熨斗マきそ始

江戸 深奥  
作永 秀明

試筆

交瀧本ハ我多飛葉マ予ぐトめ  
行ハ火汗のあうして予げトめ  
るほぐれとのたつけて予ぐトめ

伊勢川 梅路  
武中上 文東  
し路

少足比須

古今詩歌明題集卷之二

いとひづる人ハ志々うわさいも  
いとゆるもさる日ありかえいし

左京 雲和  
下毛郡 百尋

無患文ふきさふ

あゝあゝとて死しのき  
あゝあゝ紅くさき袴はかまの影かげく  
あゝあゝ指ゆび買かぬもも疑うたがへ

改上  
和暢  
一氣

破磨やま

くまうやふゆは乳ちとと持もちちづら

甲斐守 不殘

弓始ゆみはじめ

帝みかど出いるもめめででくくららたたくくえ  
そそかからら乳ち光あき臨まととせせててららたため

近江 昌房  
青豆

馬乗始うまのりはじめ

系始けいややままがが振ふりりもも繫つぐぐををし  
ののぞぞめめやや梅うめめよよ白しろ沫うししよよくくりり  
系始けいよよききややああてて 白しろ鞍くら馬う

いせ山田 龜之  
上毛 茂野  
下毛 可考

和系始わけい

系始けいやや見み前まへへへつつくくもも控かののちち

大坂 まさる

古今和歌集卷之...

淫いん始はじめ

いそめ衣エモンつくとて口を弄

青柳 巴 兮

釋しやく始はじめ

いそめ衣エモンつくとて口を弄

武中 席 園

賣うり始はじめ

いそめ衣エモンつくとて口を弄

此 君

浴室ゆづり始はじめ

いそめ衣エモンつくとて口を弄

先マツル毒ドク一ヒト浴室ユヅリにありのサたど先

藤原 芥 志

三ミあア年ネン

あまのこにやまのこはつくるとも  
万マン年ネンやまのこはつくるとも  
あまのこにやまのこはつくるとも

素 園  
柳 居  
未 了

喜キ弱ヨク

まほや 寺テラ子コにんゆり 時

去 宿 治 雨

傀クワイ儡ライ呼コ

古今和歌集卷之...

笑ふ縁て悪々ぬ梅下俣俣所

皮上

狙公 さるまたし

帝祇の縁うけしあふさるまたし

上毛前橋 黄牛

梅下 春盤よ月ハ詠されけ

喜あ 笑林

つげくのハ人の智恵らう狙まハ

備あ 東起

狙公 梅の縁よあ 乃 痕

あ橋 笑洲

鳥逐 かひ

も逐ヤ葉よまへき形であ

ね及紫 三雅

小松挽 こまつ いき

いつの今日挽 踏しとやむとら松

武中 破了

箭ハ射る 風ハおきて小松挽

吐雲

人日 ひとひ 七種

あけこ 鶴遊 一 柳葉沙

江戸 湖十

きのよままでおそくきやよ新葉沙

江戸 希因

石大のゆりくえゆれわらち沙

日 祇巫

手居くあて 葉一 草 掃

秋瓜

白いもの香るよつるわらぬ

素園

紙のくたくて 吹く ころれ

一 蕨



路<sup>ミチ</sup>の<sup>ノ</sup>色<sup>イロ</sup>ま<sup>マ</sup>じ<sup>マ</sup>じ<sup>マ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>や<sup>ヤ</sup>わ<sup>ワ</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>つ<sup>ツ</sup>て  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>小<sup>コ</sup>ね<sup>ネ</sup>と<sup>ト</sup>た<sup>タ</sup>よ<sup>ヨ</sup>る<sup>ル</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>ぬ<sup>ヌ</sup>か<sup>カ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>マ<sup>マ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>ぬ<sup>ヌ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>遊<sup>ユ</sup>人<sup>ニ</sup>の<sup>ノ</sup>か<sup>カ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>那<sup>ナ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>の<sup>ノ</sup>帯<sup>オビ</sup>や<sup>ヤ</sup>彩<sup>イロ</sup>な<sup>ナ</sup>つ<sup>ツ</sup>て  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>い<sup>イ</sup>と<sup>ト</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>や<sup>ヤ</sup>わ<sup>ワ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>つ<sup>ツ</sup>て  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>ハ<sup>ハ</sup>ら<sup>ラ</sup>う<sup>ウ</sup>の<sup>ノ</sup>妹<sup>イモ</sup>の<sup>ノ</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>を<sup>ヲ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>ぬ<sup>ヌ</sup>ハ<sup>ハ</sup>ゆ<sup>ユ</sup>ら<sup>ラ</sup>彩<sup>イロ</sup>な<sup>ナ</sup>指<sup>ササ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>れ<sup>レ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>も<sup>モ</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>日<sup>ヒ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>つ<sup>ツ</sup>て  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>の<sup>ノ</sup>帯<sup>オビ</sup>の<sup>ノ</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>

一音  
涼  
全  
古山  
雲里  
双飛  
晚九  
雲郎  
雞山  
冠子  
荻丈

原<sup>ハラ</sup>も<sup>モ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>日<sup>ヒ</sup>本<sup>ノ</sup>の<sup>ノ</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>青<sup>アヲ</sup>く<sup>ク</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>よ<sup>ヨ</sup>こ<sup>コ</sup>も<sup>モ</sup>や<sup>ヤ</sup>彩<sup>イロ</sup>な<sup>ナ</sup>つ<sup>ツ</sup>て  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>か<sup>カ</sup>に<sup>ニ</sup>よ<sup>ヨ</sup>る<sup>ル</sup>指<sup>ササ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>指<sup>ササ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>二<sup>ニ</sup>人<sup>ニ</sup>の<sup>ノ</sup>客<sup>キヤク</sup>で<sup>デ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>甲<sup>カウ</sup>や<sup>ヤ</sup>も<sup>モ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>ま<sup>マ</sup>い<sup>イ</sup>午<sup>ウ</sup>時<sup>ジ</sup>の<sup>ノ</sup>彩<sup>イロ</sup>葉<sup>ハ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>指<sup>ササ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>七<sup>シ</sup>枝<sup>エ</sup>や<sup>ヤ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>

青  
雪叩  
白志  
眠石  
破了  
白枝

福<sup>フク</sup>淋<sup>リン</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>福<sup>フク</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>掛<sup>カケ</sup>梨<sup>リ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>  
<sup>ミ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>福<sup>フク</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>掛<sup>カケ</sup>梨<sup>リ</sup>の<sup>ノ</sup>乳<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>る<sup>ル</sup>こ<sup>コ</sup>ら<sup>ラ</sup>れ<sup>レ</sup>る<sup>ル</sup>

大偶  
倚舟

古今和歌集卷之二

世宗... 集雅堂

松脂の多しき一福二一

把天草 壺 倒

用花

押折戸で我々よハくびらき  
物まじいの字くたなり花びらき  
花びらきおろしと梅の後で居る

麦林  
し路  
扶父金崎 浪 戸

甲冑鏡資割

うらひの

朱纒の綴もおろしてかゝ割

武加頂 李 冠

帳釘

ちまう

ほろろマよりおとちハうと成る

武加頂 如 毛

あ掛祝

居溜へうめて洒きや水いそい  
んハおしめぬ礼や水いそい  
嬢のまゝ、おろや 水いそい

一 蕨  
涼字  
幾 曉

番下

かぐんし鼻のまきこ番おろし  
行厨のかしも深より番おろし  
人の目へ着てもかまらびよおろし

安里  
祇 巫  
又 久

古今事考

世宗... 集...

下ケるより上ケるが... 番おろし

淳寧 魚礼

常陸常神事... 常陸常... 常陸常...

瓢十 東怒 淳寧

縣召... 馬ふらむ...

西羊

土益と對の歌あきあき...

楚岫

粥杖

粥杖ヤあひのし...

梨明

林著入

ヤボリヤ... ヤボリヤ... ヤボリヤ...

徳律 白枝 古由 柳居

古今行歌明題集卷之二

古今和歌集卷之十一

やぶつりやあそびまろむどさうまへ

涼守

花焼夕ゆふの

焼やみ余あ利りハハズズして うめろ乳

杜奇

御おん忌よみ

海うみ帽ぼうふふと消くり清きよ忌よみの山やまなる

末羅人

きえくろ清きよ忌よみや十じゆ段だんのりりのころ

日麦看

春風はるかぜ

春風はるかぜやまの庭にわ室むろと葎つばきあそび

其栴

とくとくきと吹ふ出で山やまややるるの風かぜ

山岸やまがし席せき

春はるの風かぜ麻あしの角かくふふここええきき

全ぜん松まつ丈ぢゆう

柳やなぎくくまましてしておおれれややままれれううせせ

江戸江戸百ひやく卉けい

菖あやむぎ海うみととここええててままややまま乃の風かぜ

日ひ夜や素す

舞まひひををびびみみままややままれれううせせ

徳とく帑たう

吹ふ涼りやうととつつれれててああくくままのの風かぜ

餘あま響かき

飛とききうう又また甲かた坂さかののささままくく鳴なききううれれ

大おほ胡こ周しゆう

ききここななりり二に日ひハハせせくくななるるささううとと

去こ路ろ

つつ花はなののここいいちちふふささるるゆゆむむささううれれ

古今和歌集卷之十一

古今所明見集卷之一

ましまぐ一々ふりまきさうれ  
城のまよとるれぬささ  
真のまよとるれぬささ  
琴のまよとるれぬささ  
水はまよとるれぬささ  
松のまよとるれぬささ

木吾  
西羊  
其笛  
鳥久  
李北  
祇翠  
浪袋

春雪

ましまぐ一々ふりまきさうれ

支考

筆のまよとるれぬささ  
京のまよとるれぬささ  
中天的まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ  
まよとるれぬささ

辰巳  
柳六  
桐原  
一画  
双糸  
入楚  
画州  
大早  
林江  
凉帝

古今所明見集卷之一

古今和歌集卷之...

多の糸よくはつてねとものき  
礎のほろびおぼへておくやものき  
夜と寝て月まで寝ておぼへものき  
けうらうらと春まきと碇やものき

涼糸  
野素  
史丸  
一氣

春雨

をゆや啼きよ飛ハかんこそ  
をーよい昆布のねやものぬ  
骨の乾くたえやそれのあめ  
夏と脱ぎ着のね成やものぬ  
裾草菜よ湖の盪圓やものぬ

百弁  
士風  
一氣  
冠子  
如本

まるや門ハ柳のハき  
をゆやまゝうしさりる後のあ  
をゆやもの乾らぬ海はあし  
資のほの極よ敷るころやものぬ  
狭田へつしおろしよのあめ  
み麗の巴器もやまのあめ  
をゆや柳の肩れあてん  
ねと芽と出ん菴やものぬ  
寝るめて柳乾日ハあうらう  
を園のね株静なりまのあめ  
まゆやまのぼもまの突がゆ

李趙  
上毛右海  
芭叩  
西羊  
保井  
字多  
し路  
漢達  
太阜  
兔士  
七尾  
困工

古今和歌集卷之...

おしとおく 坂ハシキ 一 ちのふ  
<sup>武蔵</sup> 柳水  
<sup>足利</sup> 斗白  
<sup>全</sup> 源 帝  
<sup>全</sup> 全

飛騨かき

湖と富士うりうりれ 痛うれ  
<sup>下徳台市場</sup> 矢海  
<sup>全辰</sup> 里朝  
<sup>大坂</sup> 富天  
<sup>一</sup> 一江  
<sup>双</sup> 双飛

ねと出て 花へ 涙こぼか けいし  
<sup>仁戸</sup> 嵐雪  
<sup>上毛友宗</sup> 仙竹  
<sup>七尾</sup> 雲郎  
<sup>富</sup> 富城  
<sup>希</sup> 希因  
<sup>安</sup> 安里  
<sup>相</sup> 相系  
<sup>西</sup> 西羊  
<sup>原</sup> 原袋  
<sup>全</sup> 全

古今新撰明題集卷之二

魚上氷うをこぼる 魚の氷うをのぼるる

武蔵 化

雪消ゆき

木のそらにあくさゆしてを消ゆ氷  
氷橋のよハととさきき消ゆ氷  
山りてとといころよハを消ゆ氷  
瘴ぢやうひらつきて柳七を消ゆ氷  
園えんうさつ忽たちとるゆき消ゆ氷  
尾日くちの出てもるを消ゆ氷

武蔵 李小 源 戸 上毛 山 武蔵 府 志

是こゝでよむ始末も既いに消ゆ氷  
飛とくよる字あはゆき消ゆ氷

茶友 洗雪

雪回ゆき

喚わ起ききの息吹いきけりてき消ゆ氷  
山やま星ほしよ目鼻めばなのむらるる消ゆ氷  
鶴つる一隻いっしやう何なにをいへやらぬを消ゆ氷  
ふふそそのの雪ゆきよよ人ひとののむらむらるる消ゆ氷  
抄す絶けつののよよゆゆよよんんるる消ゆ氷

本年 祇至 百舟 一萬 写

水煖みづぬ

古今新撰明題集卷之二



古今片哥明題集卷之二

めるませようる清るマ水の上  
居めるよ暖むハアして水のく

上毛 雷  
之 丈  
下毛 一本  
思 志

下 萌 しえ

下 萌マ上 愈ハ今 麦 なるけ  
岸の草解るほどづ 茹てぬる

下 小 又 川  
毛 糸

芥 菜 ハ

然 一 沈 鱈 の 通る 根 芥 汁  
蕎 麦 の 葉 と 洗ハバ 根 せう乳

丈 草  
京 市

女 萎 ろとこ

を 地 の 根 ち 袋 巾 や ち ころう 子

浪 洲 ま 山

款 冬 花 ふきの たり

脱バ又 寝 法 師 たり 款冬 花  
初ハハえあげてりや 款冬 花  
校 道 ぶが おろく ぶきの たう  
美 涼 い 袂 と おろく ぶきの たう  
まも まま ぶが おろく ぶきの たう  
わらう 凡よ びつひ マ ぶきの たう  
あくよ まま ぶが おろく ぶきの たう

浪 城  
冠 子  
吉 路  
妻 川 お 持 六 山  
呼 友 大 和 柳 本  
西 羊  
洗 雪

古今片歌明題集卷之二

古今片歌明題集卷之二

茅菴の昇山カミヤマ低ヒサしきれしきしき

四道

木芽キノの

又石よ成ナリ換カちふて 木芽キノのれ  
日あひくるをを見みつつめてて痛いたむむ木きのののめめい  
木きの食じのの秧えい田でななまま 木きののの芽のののれ  
くくめてて白しろよよ芽のののれれババ木きのののめめい  
ぞぞ芽のささもも根ねててままけけしし 木きのののめめい  
多たのの芽のれれ傍かたくく 芽のををむむ木きのののめめい  
花はなととほほのの紙し繰くああららるる 木きのののめめい

戸大至  
里郷  
子風洲  
一の昇  
深城  
長尾

木芽キノ淺あづづりり

庭にわののくくまま 游あそばば 木きのののめめい  
舌しほうちうちのの児こををぶぶよよままやや木きのののめめい

尾越人  
白院

甲折カサ

ややじじりり木きのののめめい  
ああ方かたへへ土つちううりりままててああそそぶぶれ  
ままハハ今いまううるる一ひと口くちああくくああそそぶぶれ  
つつれれくく時ときののままままななああそそぶぶれ

涼江  
涼江  
涼江

古今片歌明題集卷之二

古今行状用題集卷之二

照山粟秋（イ）のわろをゆハ

他山 李中

凡いふ人（イ）がきごもろくどくハ  
やぶりののびつて咲もめりどハ

武上 緑相  
江戸 毎

蕪菜（イ）  
咲で久（イ）てき子のぼろれとさむハ  
からいぼくハ見えぬとさむくハ

武小 祇十  
上毛 井花

新草（イ）

新草（イ）のきん（イ）てあるまのの  
わろのゆめ（イ）のきん（イ）ハねま  
いゆめ（イ）のきん（イ）ハねま  
新草（イ）のきん（イ）ハねま  
わろのゆめ（イ）のきん（イ）ハねま  
新草（イ）のきん（イ）ハねま  
わろのゆめ（イ）のきん（イ）ハねま  
新草（イ）のきん（イ）ハねま  
わろのゆめ（イ）のきん（イ）ハねま  
新草（イ）のきん（イ）ハねま  
わろのゆめ（イ）のきん（イ）ハねま

武村 洗雪  
武村 二毛  
武村 仙衣  
武村 女露  
武村 指  
武村 由  
武村 也  
武村 白枝  
武村 涼宇  
武村 温故

古今行状用題集卷之二

古今行状月見集卷之十一

臺心

くもろや 小島の腫の儼うぬり  
くもろや 法傍の家を回てうら

雙飛  
家沾

苔脯のり

ちのの苔と拾ふや 苔脯のうら  
海苔やぬるて江戸の字と  
のどげさや海がて 苔脯のり  
乾あげて焙となくくや振のり  
海苔や養ふ乾いてしほあるま

破了  
九鼻  
木節  
其梅

ちやうの苔脯の乾ある夕日

一

雛見膳

うきうきにちのれてをるのよめ  
あひむけて漆のこころをよめ  
梅のよめて寝くと清くよめ

母恋  
涼帝  
青藍

松花

大まはるげふ志あふやまのの  
我ちうく情中であふやねる乳

笑林  
鈴城

古今行状月見集卷之十一

古今新撰月百  
世宗片歌明集  
卷之二

梅うめ

山王ハ美の事<sup>ハ</sup>一うめれを乳  
こねといふぬ<sup>ハ</sup>うめれを  
うぐいもの<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>うめれを  
吹止て<sup>ハ</sup>居<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>一うめれはな  
鼻と<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>多<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>一うめれ花  
湖凡ハ<sup>ハ</sup>吹<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>白<sup>ハ</sup>一うめれ乃<sup>ハ</sup>そ<sup>ハ</sup>れ  
さ<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>もの<sup>ハ</sup>皆<sup>ハ</sup>及<sup>ハ</sup>古<sup>ハ</sup>た<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>ん<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>心  
梅<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>飛<sup>ハ</sup>ば<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>み<sup>ハ</sup>し<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>そ<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>あ  
お<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>じ<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>さ<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>梅<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>花  
折<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>けて<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>遊<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>花

芭蕉  
存義  
山田  
以秀  
大室  
上毛志岡  
青戸  
希因  
巴静  
雲郎

手<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>花<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>顔<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>不  
梅<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>飛<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>ん<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>一  
台<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>晴<sup>ハ</sup>天<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>か<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>足<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>た<sup>ハ</sup>れ  
い<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>顔<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>マ<sup>ハ</sup>梅<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>不  
お<sup>ハ</sup>是<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>方<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>斗<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>れ  
梅<sup>ハ</sup>が<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>え<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>燃<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>向<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>り  
う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>そ<sup>ハ</sup>し<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>近<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>の  
浅<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>り<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>中<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>月<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を  
歌<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>む<sup>ハ</sup>せ<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>鼻<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>梅<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>花  
焼<sup>ハ</sup>中<sup>ハ</sup>で<sup>ハ</sup>日<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>入<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>れ  
そ<sup>ハ</sup>ご<sup>ハ</sup>板<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>心<sup>ハ</sup>ゆ<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>め<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ら

上毛板  
涼帝  
今  
一の  
青  
深  
希  
一  
吉  
西  
六  
柿

古今新撰月百  
卷之二



一つは二つは ふや うえ のけ あま  
状挿の道し アハ うら うめ れ ふ  
梅が ま や 機 の 中 うら うめ て ま  
さ う れ て 後 う ち や う め れ れ  
あ は ら う 居 て う ら 惹 け り 梅 の を  
梅 は な り 紙 格 う め れ る 水 の う ま  
ま ら ぬ ま で 後 う う な う う め れ る

上毛 杏  
女 一 蕙  
武 一 紅  
鬼 雪  
忍 井  
お 秀 柏  
東 起

柳 やな

い の ゆ の 雪 と 動 り ま ぎ う れ  
圃 中 の 枝 り ゆ れ 柳 う れ

破了  
あ ま た い  
為

根と お い て う め れ め 柳 う れ  
何 い と つ 約 上 し せ ぬ や ち ぎ の も  
樹 叢 の ま と く り 柳 う れ  
節 寄 よ そ の 跡 る ま ぎ う れ  
遊 ば て 樹 よ ち ぬ や ち ぎ う れ  
た く れ て こ ん か せ バ 柳 う れ  
年 賜 と 想 て る ま の 柳 う れ  
花 さ ぬ か と も ほ ぬ る 柳 う れ  
そ こ ろ ま で 水 の つ れ ら 柳 う れ  
梅 枝 の 細 よ ま け る 日 も あ る 梅 う れ  
院 川 よ ま め る え せ る や ち ぎ う れ

素 園  
梅 海  
か 受 念 辰 鬼 承  
茂 秋  
い せ 岸 痴  
古 由  
音  
春 林  
吐 涼  
希 因  
太 阜

古今戸部明題集卷之一

おありの柳を 凡のゆきまをり  
ま柳のぬれてかむマ 水車  
ま柳マあれておの山の形  
根子ハ之節くいてマるぎ  
目とつらつ話ハゆぬマれまう乳  
正をなもののゆまねよやまぎうな  
正面といふゆもおて柳  
省へ先振えんで居る柳うな  
冠しこいでハ 正もやまぎう乳  
船のぬりえせまがる柳う  
お椽まきのかくつけておく柳う

兔士 一氣 百奇 津く 五葉 祇堂 汶之 女扇 女兆 巴丁

ま〜〜ぬ地巻の巻く柳う  
曳よせてる奴のゆりむ柳う乳  
新津繩とつれて葉よなる柳う  
おーあひの備眼多よできぬ柳う  
河苗のそへふまがるマるぎうな  
空へまて冠よくとマるぎう乳  
雪ハツキのたままきおろせバ柳う  
種樹をのまらうしなぬ柳う乳  
紙考あて標の迷よまらぎう  
魔法師の呪うはれる柳う  
柳翁の後歯と投を柳う

双飛 靴文 兔士 起風 鳥林 乙路 杉町 漢書 川父

古今戸部明題集卷之一



つめくささこへて長るやまぎ  
早崎のを理と通して柳うれ  
あうい本末知れぬやまぎうれ  
こい西へ凡おーのけやまぎうれ  
石燈 挑みまゝ 柳 のな  
を採りて筏のけやまぎうれ  
山城よ水あうくとやまぎうれ  
庭ぬもとくえてまゝ居る柳うれ  
唇でこのまぐさむやまぎうれ  
ま柳やみとむしてつれてり  
交通堂よ海のこまぐぬ柳うれ

日 霜阜  
巴 夕  
日 士 畜  
八王よ 来 函  
竹 崇 巴 崎  
素 筏  
尾 雨 石  
七尾 畠 浪  
上毛 亀 文  
武 本 圭 字

吹やめハゆふうらむき柳うれ  
晴天うらうらして隣ぬ柳うれ  
巻なるうらむて見てり柳うれ  
燈籠の肩もるるやまぎうれ  
幕とれハ伸のむある柳うれ  
入って度流のあひるやまぎうれ  
ま柳やむちらげむてまのうれ  
柳花よ一丈盗むやまぎうれ  
猫の身動して足敷やまぎうれ  
八九万空てむ何やまぎうれ  
海へまの肩のうらむて柳うれ

去 歌  
小田原 芋 魁  
孝徳之山 秋 袋  
青 藍  
白 枝  
上毛 壱 戸  
府 魁  
全 涼 傘  
女 星 菫

世宗戸部明題集卷之一

世宗... 歌... 集... 卷之...

喚起る うき

うぐいさよあさきりーるおきん  
うぐいさや土のこぼりなよき  
うぐいさや山低うーて水細ー  
うぐいさの目よあてー居るおきん  
うぐいさや梅もて可きよそあひ  
うぐいさやさー泳遊ーゆきあひ  
うぐいさやおの水きこけかー  
うぐいされ神ーひそくにおきん  
うぐいさの放ーてえくるおきん

八王子 吼 圭  
涼 帝  
全  
全 素 園  
全  
門 怒  
笑 牛

うぐいさや春のおどろえておひ  
うぐいさや鏡いりとい云は  
うぐいさや舌よ旭あすの志してよき  
うぐいさや藤る時ハ孫ておぼけ  
うぐいさのいとくーおきん  
うぐいさの八日へ伸ておきん  
うぐいさや今までさうさるハ何  
うぐいさの寛堂とゆきおきん  
うぐいさやさうさるぬあよき  
うぐいさや梅の佐さよぬえき  
うぐいさのさるのけておきん

秋 午  
秋 扇  
冬 涉  
冬 破  
一 葉  
双 飛  
白 枝  
李 北  
西 羊  
涼 矣  
涼 矣

古今... 文月... 集... 卷之...

うぐいさや ヤづくまのいと腕あき  
うぐいさや 氷杓の尻の切もいとき  
うぐいさや さおし菜の下よほ  
うぐいさや 竹よ小指とたのて居  
うぐいさや けさハ隣へ出でて  
うぐいさや 舟の拵と踏  
うぐいさや 梅のうづまゝそよ  
うぐいさや 桃のそとといふ  
うぐいさや 傍しうろのひちよ  
うぐいさや のせにマきのおて  
うぐいさや 柿のうろのひちよ

春風  
百舟  
希因  
寧意  
徐車  
尾球  
荷  
水  
涼海  
芭叩  
草色  
芭蕉

麴み菓

ちりちりや けいこくあり 煮て見る  
ちりちりや 泡ももろい じゅんじゅん  
ちりちりや うづまゝのけいこく  
ちりちりや 水よまの煮て居  
ちりちりや 竹のうろぬめよ  
ちりちりや 鷗鷺ハあり 舌と顔でり

去路  
島月  
六柿  
一の口  
菓子  
涼帝

乾雪館

乾つてまぶさる館のさきやまの

仙意  
東  
野

古今片哥月集卷之二

二月堂行 にふつどう  
のちこまひ  
あられマ氷の傍れ 履のおと 芭蕉

釋奠 ヒヤクテン

叶ふ日ハモクれど 是いねじ 破了  
祭のつらも 門もして入て柳の丸 五巻

新能 たきど  
のれう

傍ハまぶサ彩子 水 衣 凍  
舞出れふ女マモツの柳より 全

おとりのはマけくさ 左 路

涅槃舎 ハニヤ

洞ナミでも元ハるたむごし 涅槃像 兔士  
多のそマ 模し涅槃の掩 百川  
けぐみのハ ホユ 前あり涅槃像 季今  
何平の寛空 クウ 師て涅槃 洞 丸 居  
涅槃舎や ふまごで 古 めも 山 なる  
きあげる 大 町や涅槃の麻 阜 がつり  
ねらんま 入 マ身と 山 ちめても鳥 梵 風  
涅槃舎 山 マ身 梵 極の柳 州 子 州 ふう 州 づ 州 づ 州 づ 州 づ

古今片歌月集卷之二

古今戸部明集卷之二

どうりて又記する涅槃の  
涅槃像 變遷くまハ述てり  
おりういさある所ハ涅槃像  
涅槃をマ告てびハ業ごうより  
いと孫の姿教てねらん  
新ハもておこせどねらん

彼岸

梅さくいとくよ水仙の彼岸  
蓮ハまゝ、浮世よまゝとて彼岸  
新婦よあそび 睡もいとく

六  
之  
紙  
多  
止  
涼  
全

支  
汶  
文

午時候の陸ちり神は彼岸

治世酒

治世酒ハ耳ツ方へ目とひき  
治世酒マ振バこゝてのりき  
治世酒マまぬんそ物ご  
治世酒マ怖く下戸のこ  
治世酒マかうえてまぬき  
治世酒マ秋りもと修り  
治世酒マ身ちり山と笑ふ  
治世酒マ庭ハやえてる氷

燕石

涼  
祇  
し  
深  
汶  
東  
白  
深

古今戸部明集卷之二





古今片歌明是集卷之二

陽炎

かけりよ鼻あそめるやるは  
陽あはく殺のやや  
陽あや地ヒのそく 道の付く  
かげりよ尸擗てある物ヒ

涼帝  
古路  
古由  
之六

紙ヒ孝ヒ

よきよきよきよきよきよき  
ころんでしよきにひくや紙孝  
大よきよきよきよきよきよき

し路  
破了  
秋午

下りまのいとヒ志ヒ孝ヒやヒいヒうヒのヒぼヒよヒ

佳祐

乳くも糸の出てありいヒうヒのヒぼヒり

小文ヒ必

中ヒ天ヒよおほりてあそいヒうヒれヒり

素綫

切てきて陸橋とまヒくヒやヒ紙ヒ孝ヒ

急川

風ヒひヒとヒつヒやヒしヒよヒ沖ヒくヒいヒくヒれヒぼヒよヒ

起谷

瓦山ヒへのむヒきヒ日ヒ乾ヒやヒいヒうヒのヒぼヒり

武吉泉

後ヒより牛ヒあヒまヒやヒいヒうヒれヒぼヒよヒ

上毛ヒ孝ヒ神

おろしてハヒ幣ヒのヒとヒ紙ヒ孝ヒ

徐来

吹ヒけヒくとヒ花ヒよヒ歎ヒちヒいヒうヒのヒぼヒり

素園

化ヒ為ヒ鳩ヒ

古今片歌明是集卷之二



古今戸部明是集卷之二

お珠と先づけて化へてうらたの  
鳩て今ぬくめてくれとまの友  
こころをさへて鳩や化へてもまのま

春鷹はるの

東へ揚尾へ志しむ鷹を  
尾ハきに逸て消へりまの鷹

雑ま

旅人のまの日はあると紙の  
尾へまももあれしきりの

大和神  
自天

系  
移竹

系  
笑林

上毛  
琳李

系  
百尋

系  
涼帝

系  
素園

せむちよキバ紙の  
さるると花よまきき紙の  
紙のまの夕日とまを踏まづ  
おませぬ客の黎明マキドの  
折るまの桃をまなまや紙の  
一口よ教と道マキドの  
まのまの尾の跡よマ紙の  
何をえてまの紙マ紙の  
あま花山ハまの紙の

女  
一紅

七尾  
道踏

系  
為谷

系  
古由

系  
子風

系  
岸席

系  
右阜

告天子ツヒ

古今行状明是集卷之二

り笠のそりく〜園さひだりし  
 かつつとつあよ入きりまひはし  
 園い日の中よいくつもひだりし  
 抱くまてるるのさきよひだりし  
 夕いさう〜まよう出て 麦 圃  
 月又してこそよかきりマ夕いだり  
 うらゐものさき〜のさきひだりし  
 いろろ〜既中の代次マ夕いだり  
 かつお〜さき〜のさきひだりし  
 蓬乾たけ山の出てさきひだりし  
 ちきと日と〜つめりひだりし  
 西羊 原城 祇聖 吳江 双羽 黄牛 双飛 凍空 素園 遊里

下りて〜ゆき人マ夕いだり  
 簑い巻て船のま〜や夕いだり  
 傘の背中〜かくいだりし  
 扇この裏こさこをこれていだりし  
 昇ハ日ハ後あ〜めるいだりし  
 日の暈カサの裏でさ〜もる 先馬ハし  
 日の上ハさ〜てくれりいだりし  
 涼 計 午 吟 柳 四 見 夙

知更雀こま

あま〜りマ旭とのサ〜て 越まら  
 こま〜りマハ〜とハ〜ると告ハす

原城 箕笠

古今片歌明是集卷之一

字曾 漢名 未詳  
うその糸柳の糸の松ヤもき 左傳 抽之

赤都牟之理 漢名 未詳  
笑山の秘苑もき 維地

百千鳥

ハツの耳け時ほーや 小倉 ちぢり  
なぐまの 上毛 夜で乃や 文 百ふどり 冠子  
大ぞりのるう加日や 冠子 百ふどり

鳥尾 ウリ

妻恋ヤ行赤喜ハ 周防山口 断 東 木 仙臺 夕  
翁も格ほけく 桂 さる 布川 時  
恋よ又何 布川 せり 布川 せり

鳥巢 ウサ

うらの糸 左 葉 左 糸 左 しく 左 へ 左 て 左 曳 左 て 左 たる 左  
何の糸と氏 左 子 左 ち 左 ち 左 け 左 かん 左 こ 左 ころ 左

黄雀 ウツメ

古今片歌明是集卷之一

子よせこのやうにまいて 翠<sup>ムラ</sup>さしめ 本加白扇

常<sup>カ</sup>所<sup>カ</sup>

ま<sup>尾</sup>くひー<sup>尾</sup>所<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>も<sup>カ</sup>つと<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>れ  
は<sup>尾</sup>ま<sup>尾</sup>あ<sup>尾</sup>い<sup>尾</sup>の<sup>尾</sup>有<sup>尾</sup>さ<sup>尾</sup>め<sup>尾</sup>て<sup>尾</sup>ゆ<sup>尾</sup>所<sup>カ</sup>  
尾<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>い<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>く<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>所<sup>カ</sup>  
花<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>経<sup>カ</sup>ー<sup>カ</sup>ゆ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>  
少<sup>カ</sup>風<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>

燕<sup>ツバメ</sup>

し<sup>シ</sup>る<sup>シ</sup>ア<sup>シ</sup>る<sup>シ</sup>よ<sup>シ</sup> 瞬<sup>ヒトシ</sup>ま<sup>ヒトシ</sup>て<sup>ヒトシ</sup>ゆく 尾記<sup>ヒトシ</sup>候

潔<sup>ハ</sup>ち<sup>ハ</sup>ぐ<sup>ハ</sup>華<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>下<sup>ハ</sup>り<sup>ハ</sup>燕<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>れ  
漕<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>お<sup>カ</sup>も<sup>カ</sup>ち<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>燕<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>れ  
狷<sup>カ</sup>鳥<sup>カ</sup>士<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>恥<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>ぬ<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>れ  
風<sup>カ</sup>起<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>す<sup>カ</sup>け<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>ち<sup>カ</sup>  
渚<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>け<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>汀<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>ほ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>燕<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>那<sup>カ</sup>  
白<sup>カ</sup>雲<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>燕<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>れ  
傲<sup>カ</sup>月<sup>カ</sup>し<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>か<sup>カ</sup>ろ<sup>カ</sup>さ<sup>カ</sup>や<sup>カ</sup>解<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>め  
睿<sup>カ</sup>紳<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>地<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>搦<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>れ  
燕<sup>カ</sup>ア<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>志<sup>カ</sup>よ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>ぶ<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>て<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>  
托<sup>カ</sup>汗<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>先<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>や<sup>カ</sup>じ<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>れ  
撒<sup>カ</sup>ち<sup>カ</sup>り<sup>カ</sup>つ<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>や<sup>カ</sup>里<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>あ<sup>カ</sup>ら<sup>カ</sup>が<sup>カ</sup>て

古さへ士の他カマむつづ先  
笑まいのりてあつぞめく乳  
生髪をつまんで色る燕の卵  
ゆき後<sup>こ</sup>つてハのく燕<sup>う</sup>れ  
燕<sup>や</sup>とちるをくれバ<sup>ま</sup>も<sup>ち</sup>者<sup>ん</sup>  
川竹  
笑林  
琴詩  
祇愛  
涼裳

水鳥帰 みづとり

萍<sup>かき</sup>よき<sup>き</sup>マ<sup>の</sup>の<sup>り</sup>て 帰<sup>り</sup>る 龍<sup>り</sup>  
大<sup>た</sup>村<sup>むら</sup>呂<sup>り</sup>

鹿解角 かづの

あて<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>女<sup>を</sup>ご<sup>ご</sup>ろ<sup>ろ</sup>マ<sup>マ</sup> さる<sup>る</sup>の<sup>の</sup>ー<sup>ー</sup>り  
兔<sup>う</sup>海<sup>かい</sup>

ま<sup>ま</sup>あ<sup>あ</sup>ハ<sup>ハ</sup>今<sup>い</sup>ち<sup>ち</sup>あ<sup>あ</sup>れ<sup>れ</sup>マ<sup>マ</sup>お<sup>お</sup>と<sup>と</sup>角<sup>かく</sup> 你<sup>な</sup>奥<sup>おく</sup>

猫草 ねこの

屋<sup>や</sup>棟<sup>どう</sup>よ<sup>よ</sup>孫<sup>そ</sup>て<sup>て</sup>る<sup>る</sup>し<sup>し</sup>か<sup>か</sup>う<sup>う</sup>は<sup>は</sup>猫<sup>ね</sup>の<sup>の</sup>草<sup>くさ</sup>  
お<sup>お</sup>ま<sup>ま</sup>ふ<sup>ふ</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>汁<sup>じ</sup>や<sup>や</sup>ね<sup>ね</sup>こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
人<sup>ひと</sup>と<sup>と</sup>孫<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>る<sup>る</sup>や<sup>や</sup>猫<sup>ね</sup>は<sup>は</sup>こ<sup>こ</sup>し  
唯<sup>ただ</sup>ひ<sup>ひ</sup>く<sup>く</sup>へ<sup>へ</sup>ま<sup>ま</sup>ふ<sup>ふ</sup>恨<sup>うら</sup>マ<sup>マ</sup>ね<sup>ね</sup>あ<sup>あ</sup>乃<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
登<sup>のぼ</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>く<sup>く</sup>や<sup>や</sup>猫<sup>ね</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
拘<sup>か</sup>榻<sup>た</sup>と<sup>と</sup>花<sup>は</sup>田<sup>た</sup>越<sup>え</sup>ち<sup>ち</sup>り<sup>り</sup>ね<sup>ね</sup>こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
涙<sup>なみだ</sup>滴<sup>た</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>る<sup>る</sup>ま<sup>ま</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>る<sup>る</sup>や<sup>や</sup>猫<sup>ね</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
字<sup>あ</sup>を<sup>を</sup>弄<sup>ろう</sup>て<sup>て</sup>くれ<sup>れ</sup>と<sup>と</sup>思<sup>おも</sup>は<sup>は</sup>ん<sup>ん</sup>ね<sup>ね</sup>こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>し  
猪<sup>いの</sup>日<sup>ひ</sup>市<sup>し</sup>  
雨<sup>あめ</sup>笠<sup>かさ</sup>  
里<sup>さと</sup>史<sup>し</sup>  
吳<sup>ご</sup>雲<sup>うん</sup>  
猿<sup>さる</sup>四<sup>し</sup>  
洗<sup>せん</sup>雪<sup>せつ</sup>  
侍<sup>さむらい</sup>与<sup>よ</sup>

古今川歌集卷之三

啓勢 びい

空<sup>ウツホキ</sup>の櫛や こけぬちをく 蟻の歩  
其の穴今おぬ蟻と 泳動こも  
おびとよいふ 籠<sup>カガ</sup>み 人を奪<sup>ガ</sup>る

お持大位 麦 兔  
伏尺 任 口  
大坂 山

蝴蝶

身入てハ背<sup>セ</sup>の足<sup>タ</sup>の足<sup>タ</sup>の足<sup>タ</sup>の足<sup>タ</sup>  
啼<sup>ナ</sup>くア凡<sup>ソ</sup>の吹<sup>フ</sup>りしゆ<sup>ク</sup>ら ます  
味<sup>ア</sup>くアあ<sup>ア</sup>の云<sup>ク</sup>くよ<sup>ク</sup>ら<sup>ク</sup>ら<sup>ク</sup>ら<sup>ク</sup>  
蝶<sup>テ</sup>こアふ<sup>フ</sup>の上下<sup>ウ</sup>あ<sup>ア</sup>くそ<sup>ク</sup>く<sup>ク</sup>

成 崇  
去 路  
百 卉  
是所 山

啼<sup>ナ</sup>くア泳<sup>ウ</sup>く<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>のよ<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>て<sup>ク</sup>り

上毛お物 素 論

蜂 窠<sup>スチ</sup>

蜂<sup>ハチ</sup>の窠<sup>スチ</sup>ア<sup>ア</sup>け<sup>ク</sup>く己<sup>ミ</sup>が<sup>ク</sup>啼<sup>ナ</sup>の<sup>ク</sup>聲<sup>コエ</sup>  
母<sup>ハハ</sup>の<sup>ク</sup>も<sup>ク</sup>や<sup>ク</sup>一<sup>ヒト</sup>室<sup>ムロ</sup>く<sup>ク</sup>よ<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>て<sup>ク</sup>あ

上毛別所 禹 頁  
お座 麦 汀

亡 蝨<sup>アホ</sup>

亡<sup>ナシ</sup>の<sup>ク</sup>目<sup>メ</sup>の<sup>ク</sup>何<sup>ナニ</sup>の<sup>ク</sup>悟<sup>トモ</sup>りて<sup>ク</sup> 早<sup>ハヤ</sup>合<sup>アヒ</sup>点<sup>テン</sup>  
かく<sup>ク</sup>ル<sup>ク</sup>グ<sup>ク</sup>ア<sup>ア</sup>ア<sup>ア</sup>の<sup>ク</sup>紙<sup>シ</sup>格<sup>カ</sup>よ<sup>ク</sup>其<sup>ソノ</sup>の<sup>ク</sup>音<sup>ネ</sup>

出蔵目忌 仙 考  
行

蛙<sup>ヱ</sup>

古今集 卷之五

かく一田のこころしきで陸うぬ  
お多よ日ハたさきまうてかを何い  
公家ハハものちづりて陸うぬ  
飛スウホのいよく一止トる陸うぬ  
百姓のいかまへづ、このたけい  
涅槃く目を撮るひる陸うぬ  
飛トくよつぬ田もあるか何い  
変チさ位ウラを四隅ヨコでなるが陸うぬ  
病ヤと苦あうりて居るか何い  
乾物よ日ハくされてかを何い  
照スる日よし油衣カッパをるさぬ陸うぬ

一 一  
喜ウレ水  
涼スズシの  
超ト皮  
杜ト谷  
固カタ探  
立タテ赤  
汶ウヅ上  
李リ北  
兔ウサギ士

鳴ナリく糸のあこじかを何い  
費ツルいよいたれて奪る陸うぬ  
爬ヒ出デして突ツのあうく陸うぬ  
あひのしし一字撒サせて陸うぬ  
をヲとあるさるハ何い  
水ミヅとあるさるハ何い  
方カタ常トコグ妻メのえおき陸うぬ  
花ハナつりて枝エダも流ナるり何い  
やこつりて吊ツル桶バケもさうく陸うぬ

柳ヤナギ居  
左サ文  
再マタ可  
雨アメ阜  
律リツ為  
素ソ笈  
漢カン遠  
如ニホ如  
果ミカ三

田タ標ヒラ 大小

けやうよと後結み星の田りー山  
 湖の教とをなしてー山  
 霧のぬき高のぬきやまうー山  
 づゝれてまふふ喜あふまうー山  
 木の節りと吹こむじての山りー山  
 ぞくハよぶれと指アまうー山  
 耕ーとあまつまつく田りー山  
 足あくと酒りーて棲田りー山  
 目よーとぬきびまうちうり田り採  
 蒸のくくくーてなまもまうー山  
 やふふい早くと見える田りー山

涼子 か金尺  
 魚子 か金尺  
 素直  
 双飛 金尺  
 南燕 金尺  
 三宅 江戶  
 素茂  
 雨笠  
 碓了  
 桐系  
 秋馬 秋田  
 馬六

むきののまの家と出うらまうー山  
 李北

鯉いり

水底一尺さー 炊上毛大田と  
 炊採 獲のりーや ことと山  
 東えしてハこハい 地橋や 炊橋西と  
 やまのとて湖の溢酒ア炊橋西と  
 桐原 五仙

寄居虫が

雙腕ハ徳とて ちの居者山  
 冷え、城を固める ちの居者山  
 其角  
 笑林



秋の風一庭くささいのき居せし  
栞のりははかくしそかりなる  
詠字 汝上

今寄風のうせ

あまのつらや浪し物よおてまよふ  
今よのや合せておてはたうらうら  
ういよややとまをともめはかこつ  
つひよせや杜城を棟ハかまひ  
うぐいものかもしよせう  
海ツキヒガヒ 浅  
玉 桂洲  
貞

釋圃のうせ

圃うちのおんてむらタリク  
まうちやめぐうあつ時う  
はうらマ隣カの傷ケ換カおカる  
圃カうらのカはカ神カをカまカきカ時カ天カうカれ  
はうらや挿カまカ女カうカうカハカ起カてカある  
涼袋 玄路 鬼掌 猿四

秧田なハ

たうらうらや泡ユしてあるも解ゲぐグれ  
たうらうらや芽とおんまてハ松の乳  
秧田ナハやうらへりゴしてかカうウらラきキ東起



古今和歌集卷之...

歌 日の寺子よきしるつくーか  
深 舟の跡よお初てつくー  
乳 母の指袴よちマつくー  
足 の泣くハ娃マつくー

杉戸 楚江  
左 珍  
笑 林  
し 路

蒲公英 かん

いんほりマ一あうくけてきのゆる  
たんりマ瓢の口へきいてゆる  
しりマ花うくけてのびあうり

木梅 箕 海  
双 壳  
生 郎

春菊 ちゆんきく  
あづまきく

き葉マ生 南山と 笑ハまろ  
そうてしかりげる道マあつまきく

江 竹 支  
北

菜花 ちの  
はれ

ちのふマ紙の冠カモのちゆるとき  
ちれららの車ズーマ牛のこち  
ちのふれマゆりとりきさなのら  
ちのふマいつちの生の麦とくけ  
ちのふマ得くる日とかまうてる  
ちのふマ花てハくよまささのまし

柳 蘇 六  
秋 午  
去 踏  
祇 亞  
雪 和  
麦 舟

古今和歌集卷之二

古今和歌集卷之...

珊瑚菜 ほう

胡荽 こすい 菘 す 又 また けん けん の の て て り り げ げ り り よ よ 水 みづ

永 雙山

野蒜 のび

蔟圃 はたけ ま ま の の 味 あじ 苦 く ず ず 人 ひと あ あ れ れ へ へ せ せ の の 水 みづ

把 仙水

葛 蔕 さち

う う の の も も そ そ う う 減 へ ち ち さ さ 圃 ぼ

無 孤舟

藕 堀 ぬく

蔓 つた 根 ね や や 先 まへ 二 ふた 三 さん 本 ぼん 上 うへ で で ほ ほ ら ら ぬ

東 如 嵐

蔓 根 つた や や 堀 ほり 換 か ち ち 又 また 系 けい よ よ 生 な る る

秋 至

萍 始 うき 生 な め め じ じ り り

萍 うき や や し し も も 遠 とほ し し 生 な る る こ こ こ こ 乃 なり

上 毛 波

紫 籜 むらさき

水 みづ の の も も 生 な ぶ ぶ び び の の 葉 は や や あ あ ー ー の の つ つ の の 拵 しな と と ま ま け け て て も も ち ち や や あ あ ー ー の の 俣 は 乃 なり 行 ゆ の の し し 箆 へら へ へ 出 で け け ゝ ゝ あ あ ー ー の の つ つ の の 甲 か 垢 か へ へ ぐ ぐ い い ち ち ぐ ぐ い い や や あ あ ー ー の の 水 みづ 浮 う ぶ ぶ の の 押 お へ へ っ っ の の ち ち や や あ あ ー ー の の つ つ の の

上 毛 田 水 成 水 花 水 全 水 踏

古今和歌集卷之...

水穴あけて流もやあいのつみ  
謝舟  
穂子の家へ出うあーれはの  
帯河  
東の右とこれとよ山一あこの  
城棠  
うーとーとあるハ見くあーのつれ  
全  
そとみられ何若蒲ぞ葉籜  
山花  
水を出し急カモのまぐぐアあれつ  
漁を

菊秋きくあき

秋でえいはいくめくう葉つくま  
菊の

菊一裁きくいざい

かのころしサクアと菊と植々へる  
如地海  
色糸とんよ葉のふ根うれ  
祇丞

胡顔子こげんこ

ぐ一本秧田かき時の色てなり  
去大葉  
不崩

芥菜かさい

かーちや一はるのむせてり  
一壽  
方

野蜀葵やぶき

お子板へ文れてくるいつをうれ  
下固

古今和歌集卷之...

辛夷 シビ

幣 ヒ あ ア ぎ ギ 一 一 枝 エ あ ア 花 ハ し シ う ウ る ル ち チ う ウ り

小倉 文 文 舟 舟

迎春花 ウヰ

こ コ う ウ ざ ザ い イ ハ ハ 香 カ い イ お オ マ マ ら ラ 咲 キ し シ も モ ぬ

松前 白 白 陀 陀

連翹 レンギョウ

ま マ ん ン け ケ う ウ マ マ 粉 コ 子 シ 変 ヘ ら ラ んと ト 下 ゲ っ ク て テ 居 ル

奈良 示 示 行 行

山茶 サンチャ

あ ア つ ツ を ヲ き キ あ ア ま マ じ ジ り リ さ サ に ニ 接 ツ ぐ グ へ ヘ える ル  
折 オリ ん ン 時 トキ 花 ハ の ノ あ ア む ム び ビ く ク つ ツ を ヲ き キ っ ツ け ケ  
鶯 ウ の ノ 吸 ス 殻 カ お オ と ト り リ は ハ だ ダ じ ジ の ノ 卵 タマゴ  
朝 アサ ハ ハ へ ヘ 花 ハ 津 ツ 草 クサ と ト な ナ り リ あ ア う ウ つ ツ を ヲ き キ  
晴 ハレ も モ れ レ 枝 エ を ヲ 全 ゼン に ニ も モ ち チ る ル ぶ ブ ぎ ギ 山 ヤマ  
い イ と ト つ ツ 日 ヒ ハ ハ あ ア っ ツ ま マ る ル 山 ヤマ 茶 チャ 山 ヤマ  
葉 エフ の ノ 水 ミヅ へ ヘ 見 ミ せ セ る ル つ ツ を ヲ き キ 山 ヤマ  
後 ノチ て テ も モ ち チ 葉 エフ の ノ 拾 ヒ り リ つ ツ を ヲ き キ 山 ヤマ

阪 阪 城 城 不 不 欠 欠 江 江 上 上 羽 羽 一 一 尾 尾

古今和歌集卷之...

接枝つぎ

椋の窠のそやもろささる接枝つぎ  
木の路の老くさくさる接枝つぎ  
つくさはんのささるつぎつぎ  
日あつふふ服ゴロのちりつぎつぎ  
花ササと衣イの禁ジツ呪フつきつぎ  
縁エをえて拵ウチうちつぎ  
細ホいものもこゝまつぎ  
冠カバ又ツ優ウ等トシ毎メあつぎ

大阜  
祇五  
涼帝  
可卿  
岷郎  
冬柿  
涼海  
冠子

出代ハテ

おかりやかかげてまてまのぬ  
おうたうやまつぎとつぎとつぎれつぎ并つぎ尺つぎ方つぎ

上毛志  
百川  
州志

雛像ひな

地窠と獨ひとりでうつぎりつぎもつぎひつぎなつぎ  
一ひととつぎのつぎ森ノ新カホえつぎぬつぎりつぎれつぎ  
晩ワ障サのつぎいつぎちつぎやつぎをつぎ語ツのつぎマつぎがつぎれつぎ  
樟カ脳ノウのつぎみつぎほつぎいつぎはつぎやつぎいつぎなつぎあつぎそつぎ  
摺ス又ツでつぎ玩ウツちつぎのつぎつつぎやつぎむつぎれつぎあつぎそつぎ  
あつぎんつぎとつぎらつぎよつぎめつぎ字ツハつぎ外ツいつぎなつぎ抱ツ  
ほつぎそつぎいつぎ月ツえつぎせるつぎ飛ツきつぎとつぎひつぎれつぎ

希因  
百卉  
許六  
中郎  
一氣  
の光  
涼帝

古今片歌明題集卷之二

新婦のあしあてもあるゆれ  
あびるや眼よ恋のなまけ  
握こよほと強さしひな  
柳一尺のなまきも衣領  
あしあて又ころんて  
家ハ一十壇さし  
かまうさやうよ小娘のゆれ

四十五

園歌

近退よ人のちれやうあせ  
晴開の紙よ矢服マリのふ

去路  
芳楚

氣のつよい人後引ううさあせ

長崎

潮盡

あおのかぐぐとて  
中天へあまおあげて  
鷗鶴の破着とくく  
床ころろの形よ  
恰よ麦葦のまじる  
巨船一擲の合ぬ  
んくそよまきのく  
浪人らよまのさうよ

兔士  
凍  
洗  
百  
巴山  
一  
又  
破了

古今片歌明題集卷之二

四十六



おろしハハコトマデハハメぬぬをシ  
足れハ夕白のうふーほひうぬ  
蝶くのつまふふと〜長ふまほひのし  
岩うの火足ハ乾くぬひうぬ  
足弱の瀧うし〜るまほひうぬ  
りさうちにね系まきるぬぬぬぬ  
青柳の泥ふまきる〜まほひうぬ  
庭ハ飛ハ〜うてまほひうぬ

一の由  
お少  
尾ま園  
吹音  
毛郎  
乃あ  
芭蕉  
古路

硯採

カヒガ  
介殺の筆架もぼて硯

休系  
秀律

鳥城の筆拭いてぬ也硯いー

かま城  
一の柳

まま

葉のまがの〜ちぬ〜まれどし  
橋ふ〜や〜む〜ま〜まのぬぬ  
奥山〜う〜ぬぬぬぬぬぬぬぬ

島京  
双飛  
武智山  
原鼻

踏音

ま〜て〜む〜む〜庭マあ〜ま〜ま〜踏〜

江戸  
全塚

壬生傳奇

古今行歌明題集卷之一

力の収いなる婿むこ之の壬にのの祖む

上毛ノラガ  
半水

沛身みづみ拭ぬぐ

困こののるるやのああききははままぬぬららひ

おのま  
鳥道

順しゆん奉ほう入い

早はや入いやのままづづるるもも山のののここららよようう  
大おほいいやのらら入い手てももよよるるハハままづづ  
早はや入いやのおおももしし路ろ筋ぢんももももつつーー

後山の本  
涼すず葉は  
花雷はなづな  
毛郎けいろう

法はふ花はな糸いと  
たままづあ  
のま

あありりくくふふやや陸りくめめててるるのの沖おき

涼すず葉は

煙えん塞さい

煙えん少すくききやの此こ芝し陸りくハハおおりり海うみ  
煙えん少すくききやのささいいおおきき入いりりゆゆるるこころろ  
ああららぎぎせせにに梅うめのの出いててゆゆくくここららよようう

上毛ノラガ  
涼すず葉は  
花雷はなづな  
毛郎けいろう

長日ながひ

ああららぎぎ日ひやの暮くるるよよハハああららるる飛と鳥り川がわ  
ああららぎぎやのああののああるるよよ海うみととままままのの  
ああららぎぎ日ひやの暮くるるよよハハああららるる梅うめ画かははくくーー

母は三云  
涼すず葉は  
白しろ道みち

細きい日とさーこむヤ不破のせき  
もき日ヤカぐうとこのむくさ  
もき日ヤ桃の奥へて老とせれ

孫のぼり 孫

田代化為あまのうらとま

何う化もふふ変てううれ  
紫ムラサキよまぐもものくさううれ  
さうばうてゑしへらぬうづれ

改上

入替

凍幣

麦あま 麴むら

居所の踏れううへ 麦うげう

本名あま 仙あま

鳥沖雲とりうみ

きくしれもそに沖ううあまのま

一

替か 替か

えうせうにぬぐころきこぐ替か 山  
居所よ始末のおまもかいこくれ

定利 南斗

玉

操あ 介あ

汐汲の齋あよりうまやさうかい  
拾うてし指あかふヤさううむ

杉あ 仲連

足利 花石

拾ハ蝶々もあつて 出くうし 双飛

櫻棘籠糸

おくる海村のちりやさくくみえ  
ゆめまんのものさやさくくみえ  
落のまがくちりあまさくくみえ  
おれは桜棘が似くさくくみえ  
ゆめまんのものさやさくくみえ

梅実

筑波くおかしきや出くうし 東き

細の目と儼るハ蒼れまう 魚

か溪韞

逆さまよ底のゆり小あゆふ  
むらみぶの魂くくく小あゆふ  
篝燈と歌てくれハ小あゆふ  
くくあゆマ花の指に昇るま  
日あさくハ水も芽と出く小あゆふ  
細の目のゆきせき小あゆふ  
くくあゆや氷のくくく小あゆふ  
糸の痕縫ふてハのぼる小あゆふ

古今和歌集卷之十一





いさ涼に雲の帯解くわらわし

伊豆御点  
柳倭

芋種いじ

新芋一ア化すぬぬク行々居る

瓠魁

桃もも

融とたけて河にありやりのそ

いせ田  
涼兔

何ドなるをとりけしゆくし桃のそ

涼備

手て子似るふみもたりのそ

希因

あほしりれハ風ありりの花

一氣

をえせて曰と休むやりのそ

素戔

桃さや園の膚の粒をどい  
歌の一を源一 かのたれ  
疎それはまき疎らにまき桃のそ  
藤ふじては牛の池いけやりのたれ  
葉はむけは目もまき桃のそ  
標め徑みちハ張はりのあし かのたれ  
捷はや徑みちと乳母ちちをけやりのそ  
一里出ておちやりのたれ  
あましくは流もえつあざりたれ  
老おくまゝ、ゆる睡ねのまや桃のそ  
麦圃あむはたの乳ありまゝのそ

麦林  
琳李  
其葉  
涼幣  
雪叩  
文帝  
双飛  
李如  
雪郎  
成石  
回山

しきくや花のいまはう梅<sup>ツバキ</sup>揮<sup>ツバキ</sup>  
麦<sup>アヲ</sup>踏<sup>ツ</sup>て 為<sup>ナリ</sup>るるるやりの花

田<sup>タノ</sup>雪<sup>ユキ</sup>  
百<sup>ヒャク</sup>尋<sup>ジン</sup>

櫻<sup>サクラ</sup>

山梅<sup>ヤマウメ</sup> 何<sup>ナニ</sup>も色<sup>イロ</sup>つてもさきさき  
よのものを笑<sup>ウツ</sup>いおしうう山<sup>ヤマ</sup>さく  
わしあつたさくさくさくさくさく  
うよの乳<sup>ウチ</sup>こ子<sup>コ</sup>ふるせて梅<sup>ウメ</sup>の  
さくさくやうつがしらやあさく  
山<sup>ヤマ</sup>梅<sup>ウメ</sup>もさくさく梅<sup>ウメ</sup>てゆさくさく  
めうさく梅<sup>ウメ</sup>のいりやゆさく

兒<sup>コ</sup>士<sup>シ</sup>  
春<sup>ハル</sup>女<sup>メ</sup> 柳<sup>ヤナギ</sup>涼<sup>スズカ</sup>  
希<sup>スズカ</sup>周<sup>ユ</sup>  
立<sup>タチ</sup>圃<sup>ブ</sup>  
其<sup>ソノ</sup>竹<sup>タケ</sup>  
櫻<sup>サクラ</sup>書<sup>カキ</sup>

さひらぶ人のえおんやを山梅<sup>ヤマウメ</sup>  
あまをぬんのお神<sup>カミ</sup>や 山<sup>ヤマ</sup>さくら  
おりろさく水の動<sup>ウツ</sup>きやを山<sup>ヤマ</sup>さく  
山<sup>ヤマ</sup>くいのつらやきーを山<sup>ヤマ</sup>さく  
梅<sup>ウメ</sup>のさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさく  
凡<sup>ヒト</sup>車<sup>クルマ</sup>うねぬさくさくさく  
初<sup>ハジメ</sup>厨<sup>タチ</sup>の儀<sup>ノリ</sup>もさくさくさく  
山<sup>ヤマ</sup>内<sup>ウチ</sup>よーいらゆさくさくさく  
おるのさくさくさくさくさく  
さくさくのうおぼえあをさくさく

其<sup>ソノ</sup>梅<sup>ウメ</sup>  
女<sup>メ</sup>た<sup>タ</sup>琴<sup>コト</sup>  
希<sup>スズカ</sup>周<sup>ユ</sup>  
梅<sup>ウメ</sup>年<sup>トシ</sup>  
安<sup>ヤス</sup>里<sup>リ</sup>  
西<sup>ニシ</sup>羊<sup>ヤギ</sup>  
五<sup>イヒ</sup>菱<sup>シロ</sup>  
收<sup>オシ</sup>上<sup>ノ</sup>  
太<sup>タイ</sup>阜<sup>フ</sup>  
趙<sup>テウ</sup>砂<sup>サ</sup>



まづさき障のまじりやゆき  
眼のまじりくはよむきりゆき  
おらぬ氣のあてはまきりゆき  
蒼天アララ一ふつくはやまきり  
用水おほくはまきり  
湯のあはれはまきり  
水くおておきもまきり  
まじり子のゆきまきり  
怖ホくまきり  
能達イデとまきり  
面々うはまきり

見凡  
葉ホ相  
吟相  
涼字  
温故  
芳坡  
映棠  
相井  
玉芥  
子永  
野芋

形カのよまきり  
凡ハまきり  
まきり人のまきり  
徳トクまきり  
洗面センまきり  
まきり  
人のまきり  
又まきり  
まきり  
山ヤマまきり

可也  
第牛  
株瓜  
百卉  
素園  
洗面  
麦舟  
文曉  
厚味  
野素  
智月

滑ておこりてなまきあうりさく  
何よせれて滑くきく  
を粉よおきくちあなハさく  
我ころちあなかよや  
ふりれハ人の背戸くさく  
あもたうさきととのやさく  
何めそこそ本殿のあや  
紅まよけく越えぬ曲突や  
あつおておよ一さや  
悦し人のあや  
舊態とせられておよ

きき  
素園  
早花  
大子代  
希周  
清節  
全  
白枝  
赤起  
浪平  
破了

杉凡ハ子の白まぬうてさく  
竹を竹む若の漏や  
かひの法もとつらに白  
嗚てううあものうま  
あ既ああ  
待ハうきおと  
あまてあもかづま  
花のあるあおで  
らまよせてあ  
弘法のこよ  
修くま

如本  
鬼海  
祇聖  
玉  
源常  
一  
希周  
し路  
汶上  
存義  
紫紅

けら ぼく 風や 山さく  
そまう 阿 くらえ せて 山様  
我ら どの くら せ 山さく  
疲 勞 へ くら せ 山さく  
新 更 蒼 の くら せ 山さく  
あま 山さく 山さく  
そまう 山さく 山さく  
おきく 山さく 山さく  
おきく 山さく 山さく

門 窓  
一 音  
色 甲  
双 飛  
柳 之  
兔 士  
其 桃  
涼 穿  
全  
全  
全  
全  
全

あま 山さく 山さく  
面白 山さく 山さく  
消 山さく 山さく  
け 山さく 山さく  
あ 山さく 山さく  
山 山さく 山さく  
一 日 の 山さく 山さく  
元 山さく 山さく  
あ 山さく 山さく  
お 山さく 山さく

映 石  
李 小  
全  
白 枝  
一 嵐  
全  
稜 又 大 丘  
兔 士  
松 院  
双 飛  
漁 寺

古今川歌集卷之一

おらうらうとあそびハ笑ッ尻山嶽  
谷へおしきのたつれやせけし嶽  
神嶽あそび進くよ異けをこそ  
鶴とえてく道やまきゆく  
毛纏よまきあそび居るさくく乳  
山さくく二人さくくハなきく  
女と推てのぼるやまきく  
まきとのハなきよまきく日や山さくく  
け厨よ一度うつくさくく一那  
くあすのちると傳出れさくく乳

武村山 素花  
武村山 子竹  
伊賀 利雪  
武村山 紫子  
日村山 桂露  
一 嵐  
素園  
素柳  
し 踏  
是利 玄芝

ももをちやあそびよ早くるさくく乳

武村山 素花

海棠

海棠尸天也新の子の顔のいろ  
海棠や際ハ炭度し暇とさき

希因 一 五

梨花

際くと混てし雪一梨花のたれ  
路へおつれ際よめてち一のふ  
日あそびとほれて白一梨花のふ  
雲のふよ元ちやたり一乃をれ

武村山 左木  
休京 左 硯  
武村山 雨雷

羊躑躅

狭<sup>カスガ</sup>扭<sup>カ</sup>の空<sup>カラ</sup>よし<sup>シ</sup>科<sup>カ</sup>イ<sup>イ</sup>てつ<sup>ツ</sup>ドク<sup>ク</sup>丸<sup>丸</sup>  
枝<sup>エ</sup>おれハ<sup>ハ</sup>節<sup>ノ</sup>く<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>あり<sup>リ</sup>い<sup>イ</sup>ハ<sup>ハ</sup>つ<sup>ツ</sup>ー<sup>ー</sup>  
蒸<sup>シ</sup>て<sup>テ</sup>出<sup>デ</sup>り<sup>リ</sup>も<sup>モ</sup>夕<sup>ユ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>マ<sup>マ</sup>さ<sup>サ</sup>マ<sup>マ</sup>ー

古路  
双飛  
李心

金棘棠

や<sup>ヤ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>偏<sup>ヒョウ</sup>マ<sup>マ</sup>ふ<sup>フ</sup>も<sup>モ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>  
や<sup>ヤ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>鱗<sup>リン</sup>よ<sup>ヨ</sup>た<sup>タ</sup>ー<sup>ー</sup>て<sup>テ</sup>き<sup>キ</sup>ル<sup>ル</sup>  
や<sup>ヤ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>杓<sup>シヨウ</sup>よ<sup>ヨ</sup>つ<sup>ツ</sup>いて<sup>イ</sup>て<sup>テ</sup>ま<sup>マ</sup>る<sup>ル</sup>  
や<sup>ヤ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>園<sup>エン</sup>ぢ<sup>ヂ</sup>よ<sup>ヨ</sup>井<sup>イ</sup>戸<sup>ド</sup>し<sup>シ</sup>や<sup>ヤ</sup>

吾江  
破了  
涼守  
希同

や<sup>ヤ</sup>ま<sup>マ</sup>の<sup>ノ</sup>泡<sup>ウ</sup>を<sup>ヲ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>  
棣<sup>ヒ</sup>棠<sup>トウ</sup>の<sup>ノ</sup>影<sup>カゲ</sup>よ<sup>ヨ</sup>ら<sup>ラ</sup>か<sup>カ</sup>く<sup>ク</sup>金<sup>キン</sup>花<sup>カ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>

胡秋  
許六

瑞香花

梅<sup>ウメ</sup>ハ<sup>ハ</sup>香<sup>カ</sup>梅<sup>バイ</sup>セ<sup>セ</sup>て<sup>テ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>  
紫<sup>ムラサキ</sup>の<sup>ノ</sup>戸<sup>ド</sup>よ<sup>ヨ</sup>沛<sup>ヘ</sup>不<sup>フ</sup>の<sup>ノ</sup>香<sup>カ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>

河内<sup>カワチ</sup>瑞<sup>ミ</sup>林<sup>リン</sup>  
士<sup>シ</sup>林<sup>リン</sup>  
甲<sup>カ</sup>霸<sup>ハ</sup>

本蓮花

彫<sup>ハ</sup>り<sup>リ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>  
け<sup>ケ</sup>いろ<sup>イロ</sup>と<sup>ト</sup>尾<sup>ビ</sup>の<sup>ノ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>め<sup>メ</sup>り<sup>リ</sup>

秋<sup>アキ</sup>午<sup>ヌ</sup>  
梧<sup>コ</sup>井<sup>イ</sup>

石菖蒲花

山向の山居よまきー 石菖蒲花  
やまざーの心志よまきやるを申ふ

武小原

桃

東

紫荊花

下柳のちしや紫荊の山居を天

所形

里

笑靨花

菴減といれは ちりれてこゝめを  
も風のちりいおろちやこゝめを

武小原

芳

梅

郁李

のちめ

飛なぐし池まぐし柳えぬこゝめを  
沖本の末社もあうてこゝめを

は

子

梅

里

玉簪

花まてー早くる山居やに花を

武小原

車

五加皮

垣越しよ誰の影るうこぎくれ  
老僧の縁のて居るうこぎくれ  
下まをともや撒げさるうこぎくれ

涼

全

向

採茶つち

ちつき日のけさをむじうよ茶つこい  
まふこのうらへよせしむるまつこい  
枝こーよ祥タスキのらある茶つこい

柳居  
双飛  
西洋

梅新生茶うめの

この梅の又けくめてころし茶つこい

映石

此茶採ムヂ

り花のほひあやあぢのそいれ

吾仲

小ぼうきにきをてりるやあちのい  
横のいあよハぬれてはあぬのい  
ほハ茶茶てあるやあちのそいれ  
栗鼠スズメのよて遠くはあやあちのそ  
抱かかいんのあやあちのそいれ  
杉スギのいあよあるやあちのそい  
いりれて目ハくまうりあちのそ  
此茶採ムヂのいくらあててはあちのそ  
脱はてりあよあ茶茶タスキあちのそ  
下したのそいりあありあちのそ  
午ひるあうりあ一りああちのそいれ

祇正  
杖丈  
一鼠  
涼茶  
素園  
台  
竹活かきん  
柳枝しのげ  
百川  
風斎は  
楓里いせ





吸露菴藏板

